

南ア月報
(2019年6月)

【内政】

- ラマポーザ大統領による施政方針演説
- ラマポーザ大統領による国会答弁

【外政】

- パンドール国際関係・協力大臣の中国訪問
- ラマポーザ大統領のG20大阪サミット出席
- 日・南ア首脳会談
- 日・南ア外相会談

【経済】

<経済指標>

- 経済成長率
- 消費者物価指数 (CPI)
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- ビジネスラウンドテーブルの開催

【広報・文化】

- ポップカルチャーイベントへの参加

【警備】

- 邦人の犯罪被害発生状況 (2019年上半期) について

1 内政

●ラマポーザ大統領による施政方針演説

20 日、南ア国会において、ラマポーザ大統領が施政方針演説を行った。ラマポーザ大統領は、成長しない経済、財政に制約がある中、我々は一度に全てのことを実施することはできない。新政権の下、我々は以下の 7 つの重点課題に焦点をあてると述べた。

- (1) 経済改革及び雇用創出
- (2) 教育、技術及び健康
- (3) 信頼できる質の高い基本サービスを通じた社会賃金の統合
- (4) 空間統合、人間居住及び地方自治
- (5) 社会的結束及び安全なコミュニティ
- (6) 可能性のある道徳的で発展した国家
- (7) より良いアフリカ及び世界

ラマポーザ大統領は、ビジョン 2030 の最後の 10 年における 5 つの目標として、10 年以内に貧困、不平等及び失業への取り組みが進展であることを決意し、以下のとおり具体的な目標を挙げた。

- (1) 南アフリカの誰もが空腹にならない
- (2) 我々の人口よりも早い経済成長
- (3) 200 万人の若者の雇用
- (4) 学校教育がより良い成果を上げ、10 歳の子供が読み書きをできるようになる。
- (5) 暴力犯罪の半減

また、ラマポーザ大統領は、11 月 5 日から 7 日に第二回投資会議を開催する旨言及した。

●ラマポーザ大統領による国会答弁

26 日、ラマポーザ大統領は、国会閉会に伴う施政方針演説に関する与野党討議の総括として国会答弁を行った。ラマポーザ大統領は、10 月に中期予算計画が発表されるまでの 4 ヶ月の間、以下の重要な分野に焦点をあて、尽力する旨述べた。

- －観光および高度な技術を持つ移民を促進するためのより効率的な査証体制を整備するための行動計画
- －電波発信の政策指針
- －大統領府計画管理部門による統一した包括的若者雇用計画
- －企業円滑化ロードマップの策定のためのビジネス界との対話
- －建設部門を中心とした恐喝および暴力を取り除くための行動計画
- －経済諮問機関、投資諮問機関及び大統領国営企業評議会の作業開始
- －タウンシップ企業ファンドの立ち上げ
- －統一的資金計画の策定
- －Eskom の将来に関するロードマップを定めた特別報告書の公開

- －官民成長イニシアティブと投資ルートに関する進展の報告
- －優先分野における産業戦略基本計画の進展
- －諮問パネルが報告する土地改革に関するアプローチの公表

2 外政

●パンドール国際関係・協力大臣の中国訪問

パンドール国際関係・協力大臣は、24日から25日にかけて北京で開催されたFOCAC調整者会議に出席した。パンドール国際関係・協力大臣は、South Africa Radio Astronomy Observatory (SARAO) 及び中国科学院国家天文台間の電波天文学分野における研究交換留学プログラムのMOU署名に立ち合った。

●ラマポーザ大統領のG20大阪サミット出席

ラマポーザ大統領は、28日から29日にかけて訪日し、G20首脳会談に出席した。ムボウェニ財務大臣、パンドール国際関係・協力大臣、パテル貿易産業大臣及びムキゼ保健大臣が大統領に同行した。

●日・南ア首脳会談

29日、G20大阪サミット出席のため訪日中のラマポーザ・南アフリカ大統領は、安倍総理大臣と会談した。ラマポーザ大統領は、南アフリカにおいて多くの日本企業が投資していることを歓迎し、南アフリカはビジネス環境整備に取り組んでいると述べた。安倍総理大臣は、海洋プラスチックごみ対策に関し、国連工業開発機関（UNIDO）と連携し、南アフリカでの生分解性プラスチックの普及に向けた支援を決定したと述べた。

●日・南ア外相会談

29日、G20大阪サミット出席のため訪日中のパンドール・南アフリカ共和国・国際関係・協力大臣は、河野外務大臣と会談した。河野大臣から、本年は、TICAD7、ラグビーワールドカップ、G20外相会合も予定されており、これらの機会にパンドール大臣に訪日いただき、二国間関係強化の機運を高めていきたい旨述べた。パンドール大臣からは、科学技術担当大臣や教育大臣として日本に関わってきた経験を活かし、二国間関係を強化したい旨述べるとともに、人材育成分野における日本の協力を高く評価しており、科学技術や工学分野での更なる国費留学生受入れに対する期待が表明した。

3 経済

<経済指標>

●経済成長率

2019年第4四半期の実質GDP成長率は、前期比マイナス3.2%、前年同期比では変動なし。支出面では、家計消費支出が0.8%減（成長寄与：▲0.5ポイント）、政府消費支出が1.3%増（成長寄与：+0.3ポイント）、固定資本形成が4.5%減（成長寄与：▲0.9ポイント）、輸出が26.4%減となり、純輸出の成長率に▲7.5ポイント寄与した。生産面では、製造業生産が8.8%減（成長寄与：▲1.1ポイント）、鉱業生産が10.8%減（成長寄与：▲0.8ポイント）、貿易・ケータリング・商業サービスが3.6%減（成長寄与：▲0.5ポイント）となった。（南ア統計局、6月4日）

●消費者物価指数（CPI）

5月の消費者物価指数は（CPI）は、前月の4.4%から4.5%にやや上昇。物価は、平均して0.3%値上がりした。（南ア統計局、6月19日）

●為替レート

2019年5月31日付（南ア準備銀行）

7.3746 円/ランド

14.7581 ランド/米ドル

16.4574 ランド/ユーロ

●製造業生産高

4月の製造業は、前年同月比4.6%増。主なプラス要因は、自動車及び輸送機器関連製品で18.6%増、鉄鋼、非鉄金属製品及び電気機器で9.4%増、食品、飲料品で3.3%増、及び石油、化学製品、ゴム及びプラスチック製品で1.7%増。季節調整後生産高は、前月比2.8%増。製造業10部門中6部門で製造減となった。（南ア統計局、6月11日）

●鉱業生産高

4月の鉱業生産高は、前年同月比1.5%減。主な要因は、金で19.5%減、鉄鉱石で11.9%減、及びクロム鉱石で7.2%減。他方、非貴金属鉱物では82.8%増となり、鉱業全体に+1.3ポイント寄与した。季節調整後生産高は、前月比2.3%減。主な要因は、PGMsで3.8%減、鉄鉱石で2.2%減、及び建設材料で11.7%減を記録。（南ア統計局、6月13日）

<出来事>

●ビジネスラウンドテーブルの開催

28日、29日に開催されたG20大阪サミットに、ラマポーザ大統領をはじめムボウェニ財務大臣、パンドール国際関係・協力大臣、パテル貿易産業大臣及びムキゼ保健大臣が訪日。29日午後には、南ア政府主催でビジネスラウンドテーブルが開催され、ラマポーザ大統領が松本関西経済連合会会長をはじめとする日本の経済人約20名と意見交換を行った。

4 広報・文化

●ポップカルチャーイベントへの参加

28日から30日にかけて、大規模ポップカルチャー(アニメ・ゲーム)イベントのGeekFestがプレトリアにおいて行われ、約4,500人が足を運んだ。第7回目となる同イベントは、”Big in Japan “というテーマを掲げ、当館はアニメ映画上映会を実施したほか、会場内にブースを設置し、日本文化や観光、JETプログラムや国費留学生に関する情報提供を行った。

また、当地愛好家によるコスプレコンテストが行われ、当館丸山大使よりジュニア、初級、中級及び上級各部門の入賞者に対する表彰がなされると、会場は大いに沸いた。

5 警備

●邦人の犯罪被害発生状況(2019年上半期)について

南ア国内における、本年1月から6月までに発生した邦人を被害者とする犯罪の発生件数については21件で、2018年上半期と比べ8件の増加となった。

昨年上半期には発生しなかった路上強盗の被害が増加した一方で、置引き・車上ねらいの被害件数が減少した。

ATMで現金を引き出す際にデビットカード等をすり替えられ、後刻カードを不正使用される被害の増加が見られる。この種事案の対策として主要銀行が提供する「カードレス現金引出サービス」は有効である。

罪種(手口)		2018年(上半期)	2019年(上半期)
窃盗	自動車盗	1件	1件
	ひったくり	0件	2件
	置引き	4件	1件
	車上ねらい	4件	0件
	侵入盗	0件	1件
	スリ	0件	1件
	ATMにおけるカード盗	1件	4件
	スキミング	2件	0件
強盗	路上強盗	0件	7件
	カージャック	0件	0件

偽警官による強盗	0件	0件
その他	0件	4件
計	12件	21件